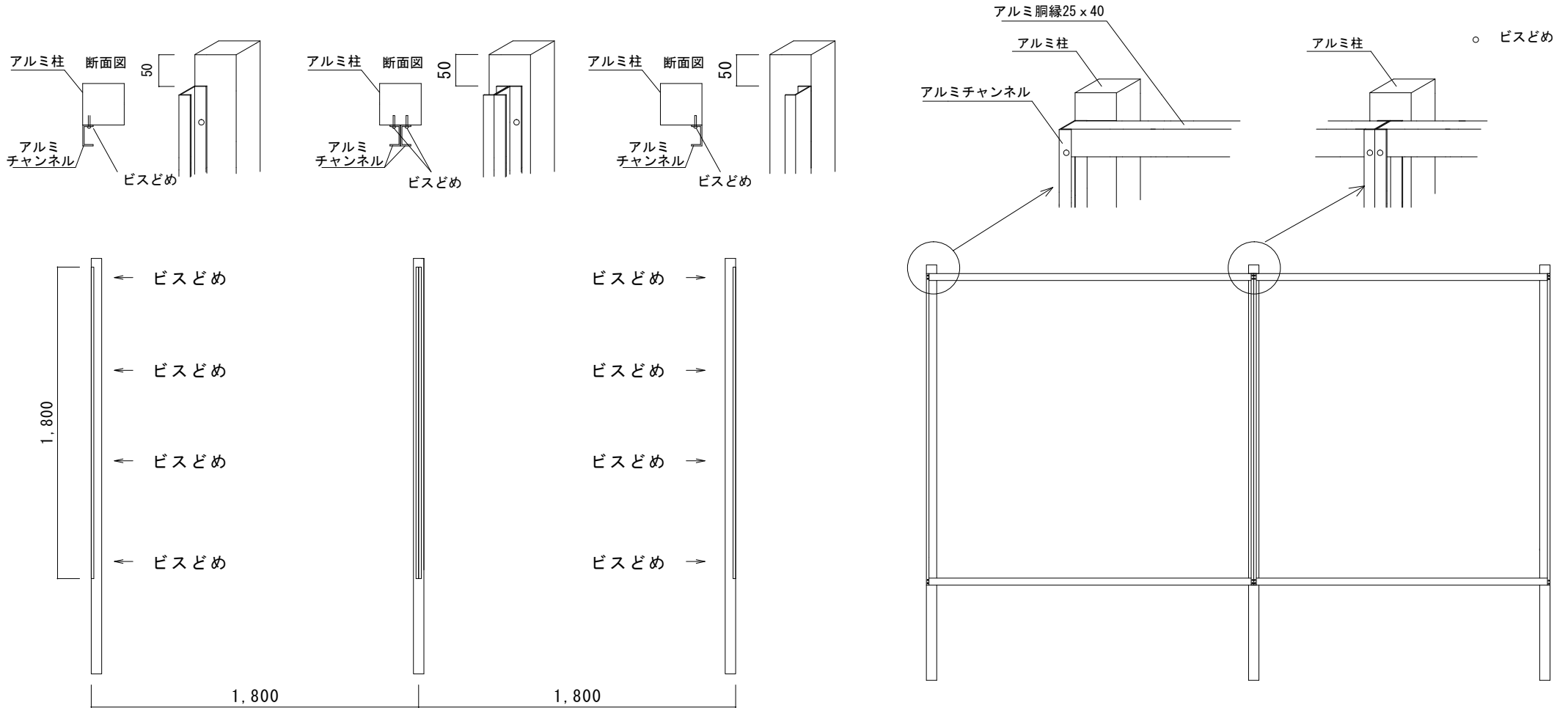


施工説明書

御簾垣 柱を見せないタイプ H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル
施工に関するお問合せは
TEL 0776-38-2533



① アルミ柱にチャンネルを取り付ける。

アルミ柱の前面にC型チャンネルを取り付けます。取付ける位置は柱の上面から50mm下がった所です。H=1800の場合、チャンネル1本につきビスどめ4ヶ所です。

端部は柱の端に合わせて取り付けます。間柱部は真ん中から2本取り付けます。

※4 x 16(茶)ビス使用

② チャンネルにアルミ胴縁25 x 40を取り付ける。

下胴縁は表側から2本ずつビスどめします。上胴縁は後の高さ調整のために1本仮止めします。 ※4 x 16(茶)ビス使用

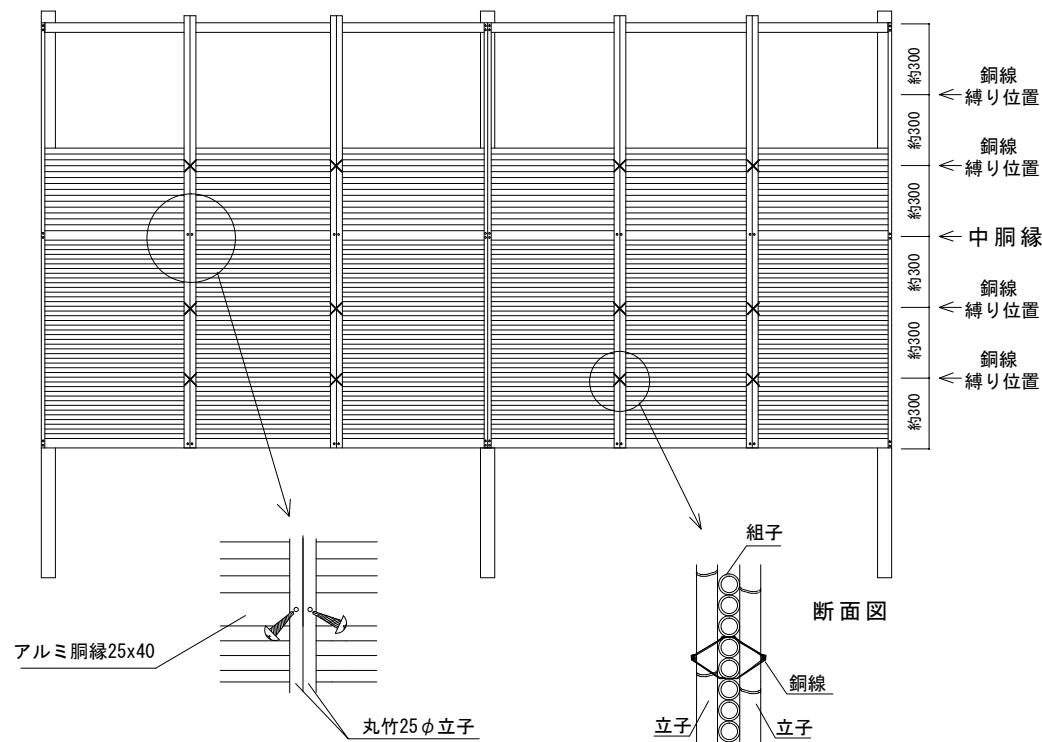
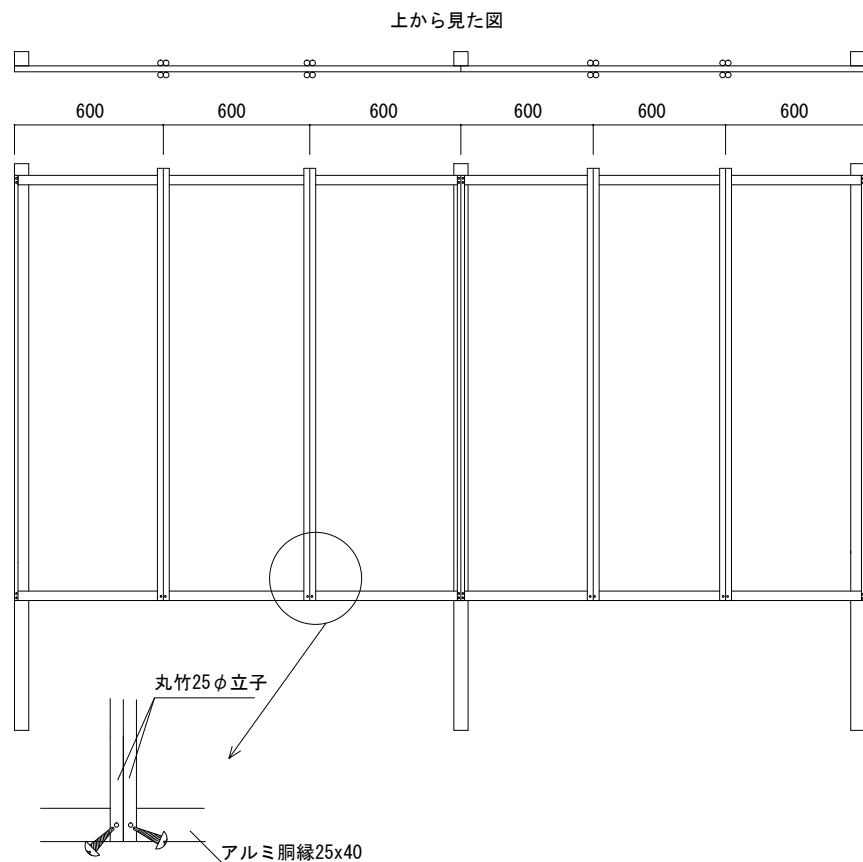
(H=1500以上は胴縁3段、H=1500未満は上下のみの胴縁2段になります)

注：アルミ胴縁とチャンネルの間に隙間が出来ないようにビスどめして下さい。

施工説明書

御簾垣 柱を見せないタイプ H=1800の場合 (茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します)

株式会社エクスタイル
施工に関するお問合せは
TEL 0776-38-2533



③ 下胴縁に立子を取り付ける

下胴縁に立子(丸竹25φ)をビスどめします。1箇所につき、表側と裏側に立子を2本ずつビスどめします。立子の長さは、御簾垣がH=1800の場合、L=1830が標準です。

※4x35(黄)ビス使用

④ 組子を入れ込む

組子(丸竹25φ)を下から順に入れ込みます。途中で表の立子と裏の立子を銅線を使って縛ります。銅線2本を斜め掛けにし、表と裏の立子で組子を強く挟みこむようにしっかり縛ります。

下から約900mmの位置に中胴縁を入れ、チャンネル部と立子部をビスどめします。

※銅線・4x35(黄)・4x16(茶)ビス使用

施工説明書

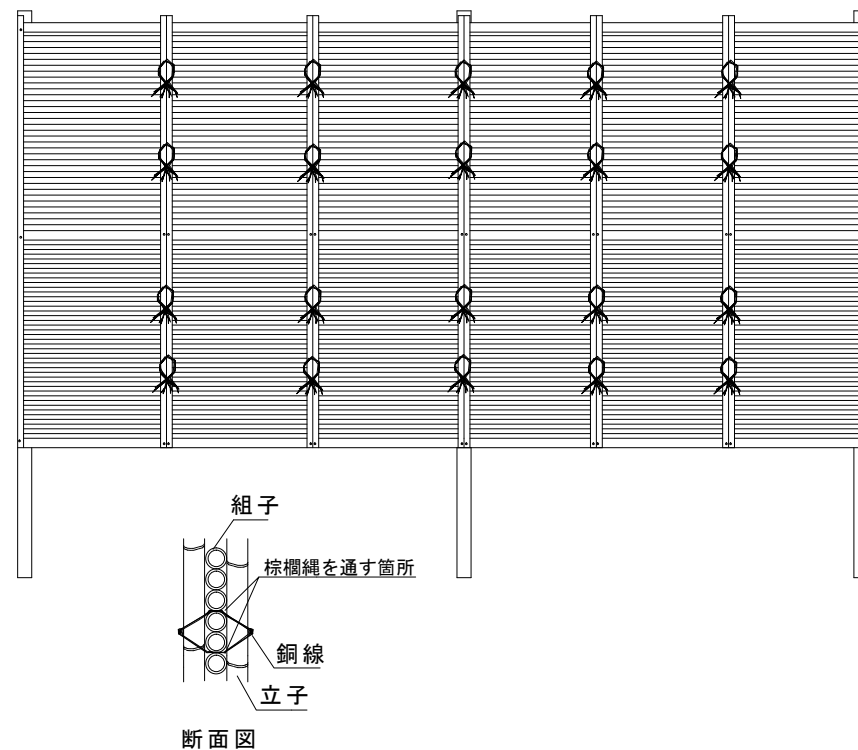
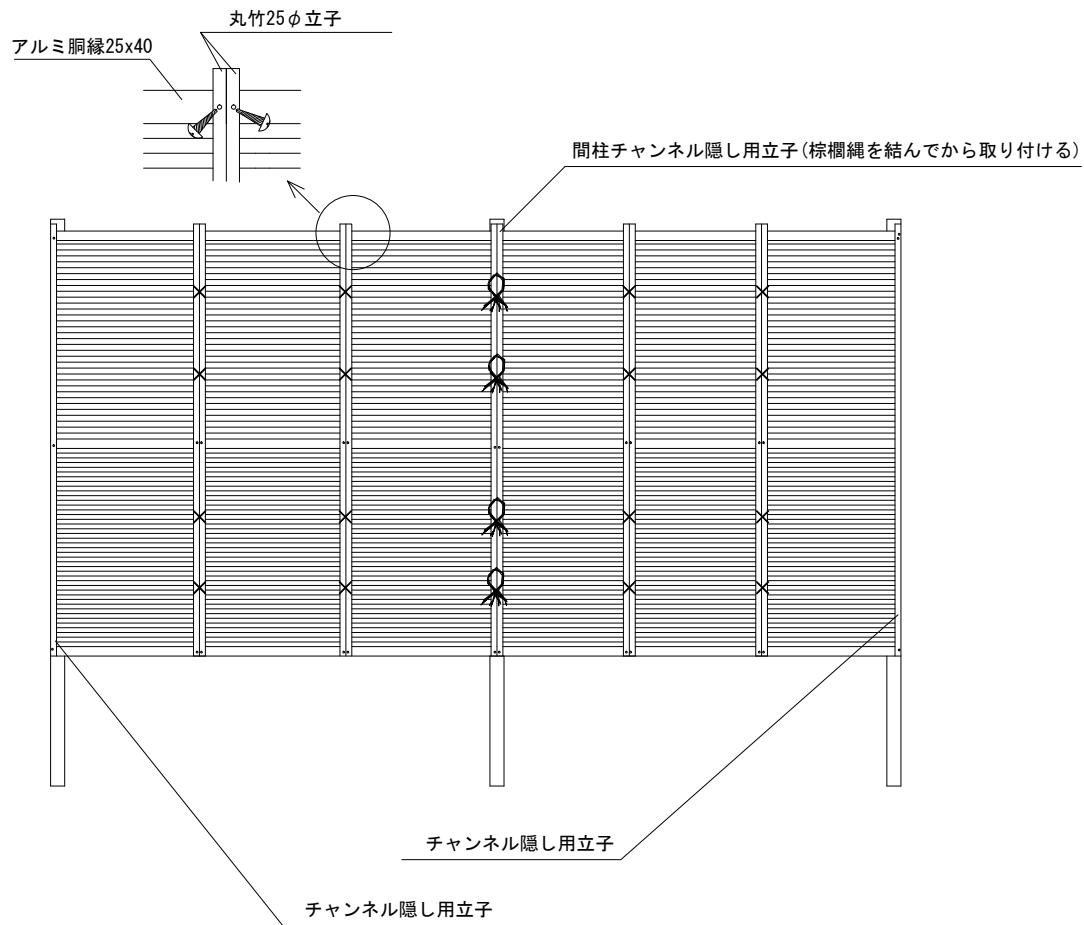
御簾垣 柱を見せないタイプ

H1800の場合（茶竹仕様の場合、ビスはすべて茶色を使用します）

株式会社エクスタイル

施工に関するお問合せは

TEL 0776-38-2533



⑤ 上胴縁を固定しチャンネル部分に立子を取り付ける

上まで組子を入れ込んだら、上胴縁と組子の隙間が出来ないように上胴縁を上下させ調整します。チャンネル部と立子部をビスどめし、上胴縁の固定が終わったらチャンネル部分を隠すように、立子を取り付けます。

間柱部分の立子は棕櫚繩を結んでから取り付けます。※棕櫚繩の結び方は別紙参照

立子の取り付けが終わったら、棕櫚繩の位置がずれないようにビスで固定してください。

※4×35(黄)ビス・4×16(茶)ビス使用

⑥ 人工棕櫚繩で縛る

銅線の縛ってある箇所に棕櫚繩を通して結びます。

人工棕櫚繩の切り口は、バーナー等で少し熱を加えらるととほづれが防止できます。

最後に柱キャップ、立子キャップをして完成です。

※棕櫚繩の結び方は別紙参照